

災害対策の決め手となる クローラ型移動電源車を開発、市場投入

～雪害、土砂崩れ災害に新境地の新型機を投入～

当社は移動電源車の製造を50年以上、行っていますが、この度、災害対策の非常用電源として注目を浴びている移動電源車のラインナップに新たに「クローラ型移動電源車」を開発し、2016年より市場投入することとなりました。

ゲリラ豪雨や豪雪で被災した停電地域へ急行する際、土砂崩れ・倒木によりアクセス道路が走行困難となった場合でもクローラ型移動電源車により悪路の走行を可能とし、早期のライフライン確保の支援を行うのが狙いです。

車両重量はクローラ装着時で7トン未満を実現し、普通免許での運転を可能としました（道交法改正後は中型免許要）。四輪駆動のクローラは着脱可能な構造で被災地までは通常のタイヤに交換して一般道路から高速道路までの走行が可能です。また、オフション対応として雪や倒木をかき分けるドーザ・ブレードを車体前面に取付ける事も可能です。

当社では今回、新たに投入するクローラ型移動電源車以外に既に市場で活躍の場を広げているヘリコプターによる空輸型移動電源車など、移動電源車のパイオニアとしてのノウハウを生かし、自然災害対策やBCP対応として更なる拡販を図って参ります。今後も引続き、多様化する市場ニーズに対応し、特殊移動電源車のトップランナーとして取組んでいきます。

以上



普通タイヤ装着

脱着作業

クローラ装着